

## EUSI メールマガジン Vol. 057

### 「6th Euro-Asia Summer School を終えて」(EUSI サマースクール体験記)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

#### 【EUSI サマー・スクール参加者体験記】

##### 「6th Euro-Asia Summer School を終えて」

石井雅浩 (一橋大学大学院法学研究科修士課程)

私は、法学研究科副専攻である「EU 研究共同プログラム」を履修していたこともあり、今回その科目でもある一橋大学とベルギーのルーヴァン・カトリック大学とで開校した 6th Euro-Asia Summer School に参加しました。本サマースクールは、5月から事前準備を一橋大学で行いながら、8月18日から22日までを一橋大学を中心に東京にて行い、25日から30日までをルーヴァン・カトリック大学を中心にブリュッセルやルーヴァンにおいて行いました。このエッセイでは時系列にそってサマースクールを振り返ってみたいと思います。

事前準備期間では、日本側参加者のためのEU経済についての講義や3班に分かれ本番に向けたプレゼンテーションの練習をグループワークとして行っていました。

本番が始まる実感をなかなか抱けないでいるうちに、初日を迎えました。真夏の暑い時間帯でしたが、キャンパスツアーをし、レクチャー後には学内の一角にある佐野書院にて歓迎のパーティーが行われるなどし、参加者間ですぐに打ち解けることができました。

総じて講義はレクチャーやワークショップ形式で行われ、レクチャーの最中や質疑応答の時間に、多くの質問やコメントが参加者側から行われ、それに対して講師の方々と熱い議論が聞かれることもありました。最先端の研究や実務の最前線で活躍している講師の方々のレクチャーを聞き、疑問やコメントを投げかける機会は大変貴重なものであり、自分の主に専攻している分野とは異なってもレクチャーや議論を聞くことは刺激的でした。

東京の3日目では、朝から日本銀行本店や国会議事堂(参議院)、外務省を訪問しEUと日本の関係における政策実務のお話等を伺いました。私は残念ながら、乗り合わせた電車が人身事故に巻き込まれてしまったため、中でも一番訪問するのを楽しみにしていた日本銀行には入ることができませんでしたが、それも今ではいい思い出になっています。

参議院では普段の見学コースでは入ることができない応接間や第一委員会室などに入り、議会の歴史を感じ、委員会室では討論者席、首相席、議長席に腰かけ、疑似体験をするなど楽しみました。また外国人参加者からの質問では案内してくれた方が窮する様な鋭い質問もありました。

外務省でも日本とEU間のEPA交渉や安全保障協力など幅広い説明や質疑に答えていただきました。

東京の5日目には、参加者が4つのグループに分かれ、それぞれEPA関係、移民

問題、英国とEUの関係、外交安全保障政策についてプレゼンを行いました。それぞれのプレゼンに対してコメントや質問が参加者から出るなど準備期間が短い中、東京の最後の夜は充実したものになりました。

週末を利用しベルギーに移動し、日曜日にはルーヴアン大学の寮に入りました。月曜日の朝から講義などは始まり、1日に3つから4つのレクチャーが行われました。

1日目は、複合的相互依存論を基礎としてアジアとヨーロッパの関係を理解する基礎的な話から、日本や中国での実務経験を有する研究者や実務家の講義や知的財産権に関する講義が行われるなどしました。

2日目は自由貿易協定に関する研究や貿易機構のガヴァナンス、WTOの紛争解決枠組みに関する講義などもあり、内容は幅広いもので、他分野ながら **Collective Action** の議論などは自分の今後の研究に活かせるのではないかと感じられました。

3日目の水曜日は、ブリュッセルに移動し、欧州委員会で、レクチャーとディスカッションを行いました。EUとアジアの貿易関係が中心でしたが、ロシアについても中国との天然ガス取引に絡めて意見を聞くことができました。

お昼にはベルギー定番のフレンチフライを食べたり、欧州議会まで散歩したりし、その後は弁護士事務所である **Sidley Austin** において講義を受け、レアアース紛争に関連し輸出制限と生産制限によって法的な性質が異なってくるのが興味深く感じられました。また、その場でレセプションも行われました。

最終日は、ブリュッセルの **Royal Library** で国際会議に参加しました。テーマは2015年以降の貿易と発展に関するもので、様々な視点から討論者が報告を行っていました。その後は、ブリュッセル散策をし、ルーヴアンに戻って **farewell party** を行い、全体の日程を終えました。

今回のサマースクールは国家主権概念を再考する機会となったと思っています。グローバル化が国家の境界を大きく引き下げ国境概念の重要性は低減している印象を受ける一方、領土紛争も身近にみられるという現代において、東アジアと欧州地域を比較し、また普段とは違う学問分野の視点に接する中で、国家主権概念がどのような変容を遂げていくのか考えさせられるものでした。

また、開催校である日本やベルギーの学生に加え、国籍や所属大学でもスイス、アメリカ、中国、シンガポール、ボリビアなど様々なバックグラウンドを持つ人たちと交流することができ、また研究テーマも国際金融や経営などから政治に至るまでそれぞれ多種多様であり、そのようなメンバーの中で講義だけでなく講義後も含め2週間余りの時間を共に過ごすことは貴重な経験になりました。研究や実務の先端を歩んでいる講師の方々と接し、講義を聴き、議論することができたことも恵まれた体験になったと思います。このような機会を提供して下さった方々にあらためて感謝し、今後の自分の研究に活かしていきたいと思っています。

「Euro-Asia Summer School」についてはこちら

<http://eusi.jp/collaboration/report/2014summer-school/>

## 【EUSI イベントご案内】

### 1. EUSI 政治プロジェクト講演会「日・EU 関係における政治対話の構築」

日時: 2014年10月25日(土) 16:00-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 4F 446 教室

言語: 英語 (通訳なし)

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

講演: 「日・EU 関係における政治対話の構築: 冷戦期における歴史の重み」

"Constructing the Political Dialogue in Japan-EU Relations:  
The Weight of History in the Cold War Years"

オリヴィエーロ・フラットリッロ (ナポリ東洋大学助教、EUSI 客員研究員)

討論: 鈴木均 (新潟県立大学国際地域学部講師)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/100228854535/eu-2014-10-25>

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141025-politics/>

## 2. EUSI シンポジウム「EU 環境法における現代的課題」

日時: 2014年10月28日(火) 10:50-16:50

場所: 如水会館 3F「富士の間」(東京都千代田区一ツ橋2丁目1-1)

言語: 英語 (日英同時通訳あり)

開場 10:20 開始 10:50

10:50-11:10 開会挨拶、趣旨説明 (EU 環境法の発展)

Uli Wienrich (駐日 EU 代表部 貿易担当第一書記)

中西優美子 (一橋大学教授、EUSI 執行委員)

11:10-12:00 基調講演

「構成国における国内秩序における EU 環境法の実施: 挑戦と達成」

Alexander Proelss (ドイツ・トリア大学教授)

12:00-12:30 コメント

高村ゆかり (名古屋大学教授)、Andrea Ortolani (一橋大学非常勤講師)

12:30-13:50 昼食

13:50-14:20 「気候変動政策と WTO との整合性」 森田清隆 (経団連主幹)

14:20-14:50 「オース条約と環境影響評価指令」 南諭子 (津田塾大学准教授)

14:50-15:20 「EU 水管理と非 EU 構成国」 佐藤智恵 (明治大学専任講師)

15:20-15:40 休憩

15:40-16:10 「生物多様性と生息地指令」

Sara De Vido (イタリア・サ・フォスカリ・ヴェニス大学准教授)

16:10-16:50 「福島後の原子力安全と原子力損害補償の課題と見通し」

川崎恭治 (一橋大学教授、EUSI 理事)

<http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/20141028-sympo/>

## 3. EUSI ワークショップ「EU 環境法の原則: 評価」

日時: 2014年10月30日(木) 10:35-12:05

場所: 一橋大学国立東キャンパスマーキュリータワー5階 EUSI 事務局会議室 3503

言語: 英語

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

講演: 「EU 環境法の原則: 評価」

"Principles of EU Environmental Law: An Appraisal"

アレクサンダー・プレルス (ドイツ・トリア大学教授)

討論:

サラ・デ・ヴィドゥ (イタリア・サ・フォスカリ・ヴェニス大学准教授)(予定)

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 執行委員)(司会兼)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141030-law/>

4. EUSI 講演会「ヨーロッパと日本における死刑廃止について」

日時: 2014年10月30日(木) 16:20-17:50

場所: 一橋大学東キャンパス マーキュリータワー7階会議室 (Conference Room)

講演: シュテファン・ヘルツベルグ駐日ドイツ公使

言語: 日本語

参加: 自由・無料(事前予約不要)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/2014-10-30/>

【EU に関するニュース】

- 2014年10月1日 英 Markit Economics 社、9月製造業購買担当者指数(PMI)改定値はユーロ圏で50.3と低水準に
- 2014年10月1日 ストルテンベルグ前ノルウェー首相、NATO 新事務総長に就任。ラスムセン前事務総長退任
- 2014年10月2日 ECB 定例政策委員会、主要政策金利を据置き、資産担保証券(ABS)などの資産購入策を発表
- 2014年10月2日 EU 報道官、香港の中環占領デモに対する当局弾圧に関し、懸念と公正な選挙制度を求める声明
- 2014年10月2日 EU 報道官、ウクライナ東部での砲撃等の停戦合意違反に対し、懸念と停戦遵守を求める声明
- 2014年10月3日 独・仏・墺中銀総裁、前日の ECB 定例政策委員会による資産担保証券(ABS)購入策に反対表明
- 2014年10月3日 EU 報道官、イスラーム国による英国人ボランティア アラン・ヘニング氏殺害を非難する声明
- 2014年10月3日 Eurostat、8月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏18カ国で前月比+1.2%、EU28カ国で+1.4%
- 2014年10月4-5日 EU、EU 市民保護メカニズム(EUCPM)を通じて英国のエボラ出血熱対策機材の輸送支援
- 2014年10月6日 欧州議会文化教育委員会、ティボル次期欧州委員候補(教育文化青年担当)を12対14で否決
- 2014年10月6日 第1回目・EU サイバー対話開催。サイバー犯罪対策・規範・能力構築などの協力を協議
- 2014年10月6日 ノーベル生理学・医学賞、欧州研究会議(ERC)助成受給研究者のモーセル夫妻らに授与
- 2014年10月7日 第1回目・EU 宇宙政策対話開催。宇宙政策・科学探査・地球観測・安全保障面の協力を協議
- 2014年10月7日 欧州委員会、ルクセンブルクのアマゾン社への低法人税が EU 国家補助規則に適法か調査開始
- 2014年10月7日 IMF、世界経済見通し(WEO)発表。ユーロ圏の2015年成長率予想は1.3%と前回時より下方修正
- 2014年10月7日 EU、エボラ出血熱対策として西アフリカへの物資輸送と医療救助システム設置に400万ユーロ
- 2014年10月7日 仏財務相、欧州委員会が来年度仏予算案に修正要求意向との報道受け、委員会の権限を否定
- 2014年10月8日 日欧宇宙フォーラム開催。地球観測・衛星航法・衛生産業・宇宙空間活動等の日欧協力協議

- 2014年10月8日 欧州委員会、英国の原発建設計画を僅差で承認。総事業費160億ポンドで仏電力公社が施工
- 2014年10月8日 ノーベル化学賞、EUのMarie S-Curie Actions(MSCA)助成研究者のS・ヘル教授(独)に授与
- 2014年10月8日 EU、北朝鮮人権侵害について同国指導者らをICCに付託・審判する国連総会決議案を配布
- 2014年10月10日 アシュトン上級代表・ヤーグラン欧州評議会事務総長、死刑廃止デーに寄せ共同声明発表
- 2014年10月10日 ファン＝ロンパイ議長・バローゾ委員長、マララさんらノーベル平和賞受賞に祝意の声明
- 2014年10月10日 独中首脳会談で李克強首相、EU・中国FTA交渉開始に向け調査開始を支持するよう主張
- 2014年10月12日 欧州委員会、シリア国内コバニの難民緊急支援に390万ユーロの資金提供
- 2014年10月12日 アシュトン上級代表、パレスチナ・ガザ地区復興のため4.5億ユーロ以上の支援を発表
- 2014年10月13日 ノーベル経済学賞、欧州研究会議(ERC)助成受給研究者のティロー教授(仏)に授与
- 2014年10月14日 ユンカー次期欧州委員長、スロヴェニア出身の欧州委員候補をブルツ女史に変更で合意
- 2014年10月14日 第20回日・EU人権対話、双方の人権分野の取組や諸問題、国連における協力など協議
- 2014年10月15日 EU・中国首脳協議、ウクライナや中東などの地域情勢、投資協定交渉、COP21などを協議
- 2014年10月15日 アシュトン上級代表、イラン核問題に関するウィーンでの米・イラン外相直接対話に出席
- 2014年10月15日 EBA(欧州銀行監督機構)、EU域内39行のボーナス制限回避策は銀行規制違反との報告書提出
- 2014年10月15日 ECB政策委員会、カバード債購入プログラムの法的枠組について合意
- 2014年10月15日 EU理事会、ユンカー次期欧州委員会修正委員名簿を採択
- 2014年10月15日 EU大使級会合、JR3社をWTOの政府調達協定対象から除外する方針内定。対日EPA交渉加速へ
- 2014年10月15日 Eurostat、8月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏18カ国で前月比-1.8%、EU全体で-1.4%

### 【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、一橋大学大学院法学研究科に在学中の石井雅浩さんに執筆していただきました。

EUSIが毎年そのプロジェクトとして継続して実施しており、今年で6回目を迎えたEuro-Asia Summer Schoolの内容の紹介とともに、その参加体験から得られたことや考えたことを率直に書いていただいています。

この日本・韓国・欧州の大学が提携して行った今年のサマースクールには、私も準備の段階から参加させてもらいましたが、まず、一流の講師陣から英語での授業を受けるというメリットがあると思いました。これは、専門の異なる学生諸君には厳しい面があることは事実ですが、その反面、得られることも非常に大きいものがあると思います。

また、東京でもベルギーでも様々な社会見学の機会があり、大学とは全く違う雰囲気や組織などに触れる良い経験ができたと思います。何よりも、異なる国、異なる大学の学生がグループを組み、議論をして発表をするという共同作業の中から一種の友情のようなものが生み出されていたことに感心をいたしました。夏休みの時期に、わざわざ遠方からこのために来られ、授業の準備に時間を割いていただいた講師の先生方、様々な国籍を持つ学生を受け入れ、充実した時間を作るべく尽力いただいた関係機関、関係者の方々のご尽力に心より敬意を表したいと思います。

これからもEUSIの教育活動の大きな柱として続けていきたいと考えています。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSIメールマガジン編集担当)

第二次世界大戦期のフランスは、ナチス占領下の「ヴィシー政権」という対独

協力政権と、ド・ゴール率いる「自由フランス」という連合国側の亡命政権の2つの政権があったことはよく知られていると思います。

そんなヴィシー政権下の1941年のある日、フランス西部ロワール地方にあるシャトーブリアン郡の中心都市ナントで、ナチス将校暗殺事件が起こりました。激怒したヒトラーは、報復として150名のフランス人収容所虜囚の処刑を命じます。その150名の中に、ギィ・モケという若干17歳の若者がいました。

シャトーブリアン郡のショワゼル収容所に政治犯として拘束されていた彼は、死を前にして家族に手紙を書きます。その手紙は名文として多くの心を打ち、その後モケはレジスタンスの象徴として語り継がれ、現在ではパリの地下鉄の駅の名前にもなっています。

そんな今からちょうど73年前の1941年10月20日から22日の3日間を描いた映画が明日より公開されます。監督はドイツの巨匠フォルカー・シュレンドルフ監督、原作配給は仏独共同放送を行うARTEです。ドイツ人でありながらフランスで学び、「独仏の和解がなければ欧州はない」という信念を持つ彼の伝えるメッセージは、現代の日本にとって極めて大きな意味を突き付けるものと思います。また「ヴィシー政権」と「自由フランス」という二つの異なる正統性を持つ政府が存在していたが故に、ヴィシー政権の戦争犯罪の責任を戦後のフランス政府がどのように受け止めたのか、また大戦中の日仏間で起こった戦争犯罪をめぐる問題を戦後日仏関係においてどのように処理したのかという点について、松山大学の宮下雄一郎先生が大変興味深いエッセイを寄稿しています。ご関心のある方はぜひ御覧ください。

映画「シャトー・ブリアンからの手紙」(2014年10月25日公開)

(原題「Das Meer am Morgen」(独仏: 2011年))

<http://www.moviola.jp/tegami/>

宮下雄一郎「日仏間で消えた「戦争」の「傷跡」をめぐる話」

『SYNODOS』(2014年10月16日)

<http://synodos.jp/international/10848>

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---